

ガスライティング工作

ターゲットを精神的に追い詰め自殺へ追い込む、心理学を悪用した手法のことです。職場、学校の集団いじめ、集団ストーカー犯罪に用いられています。

ガスライティングの工作は、証拠をほとんど残しません。イジメ、嫌がらせをされていると訴えても、第三者からは『考え過ぎ』『被害妄想』としか思えないように巧妙に仕組みられています。リストラ工作などの場合、企業側と心理系産業医がグルになって『うつ病』『統合失調症』などと診断させ休職や退職に追い込むという例もあります。このため被害を人に相談したり、訴え出ることが非常に困難になっており、被害者はますます孤立し、追い込まれるという悪循環に陥ります。まさに人権を無視した悪質な犯罪です。

*ガスライティングはイングリッド・バーグマン主演のサスペンス映画「ガス灯」から名付けられた手法です。

ガスライティング工作の具体的な手口とは

つけまわし、ほのめかし

尾行、盗聴・盗撮を含む監視行為で本人しか知り得ない情報を入手し、それをターゲットに対し、ひそひそ話しやターゲットの行動を真似することで間接的にほのめかし、恐怖を与えます。

〈例1〉自分の休日の行動を同僚達が大きな声でわざと聞こえるように話す。「〇〇(店舗名)に来てたって」「〇〇町をうろついてたってさ。〇〇さんをストーカーしてるんじゃない?」

〈例2〉・自分の部屋においてあるものと全く同じものを目立つ位置に身に付けた人がタイミングよく次々に現れる。

・家で歌っていた鼻歌の曲名を行く先々で突然言われる。

モビング（嫌がらせ）

職場、地域ぐるみで細かいながらも執拗な嫌がらせを続け、ターゲットを疲弊させる集団犯罪行為です。巧妙に「偶然」を装おうため、犯罪の証明が難しく、被害を訴えると被害妄想など精神失陥の烙印を押される場合があります。会社側が組織的に行っている場合、企業の心理カウンセラー、精神科医に、ターゲットに対して不利な診断書を書かせる場合もあります。

マインドゲーム

物の置き場所を変えるなど、ターゲットの周辺にちょっとした細工を仕掛けて自分の記憶に疑いを持たせ、不安・パニック状態に陥れる工作です。

〈一例〉本人の身に憶えのない物を置く(盗癖を疑わせる)、椅子の高さを変える、パソコンの設定を変える、ささいな物を隠す、調味料、コーヒーの味を変える、香水の香りなどを微妙に変える

※自宅での工作の場合、不法侵入が伴います。

アンカリング（条件付け）

ターゲットの周囲に作業者が始終付きまとい、特定の行為を異常な頻度で見せつけ記憶に刷り込みます。ターゲットはその特定の行為を目にするだけで加害を受けていると感じたり、始終監視されているという強迫観念に陥ります。最後は偶然その行為をした関係のない他者にまで恐怖を感じるようになります。

〈条件付けの一例〉咳払い、鼻すすり、折り畳みのケータイをパチンと閉じる、頭に手をやるポーズ、ケータイを耳に当てるポーズ、写真を撮るような仕種、通り過ぎざまに顔を見てニヤリと笑う、ソロ目ナンバーの車両を見せる

音・光による嫌がらせ（ノイズキャンペーン・フライティング）

ターゲットの周囲で四六時中何らかの音を出して神経を逆なでし、特定の音に対し神経質になるよう工作します。まぶしい光や点滅する光をしつこく当てる例もあります。

〈一例〉隣家からの床や壁を叩く音、布団を叩く音、車のドアを強く閉める音、外での大きな話し声、ハイヒールで強く歩く音、自動車がフォグランプをつけたまま停車、点滅ライトのついた自転車

コリジョン（衝突）キャンペーン

ターゲットが移動する際に、人、自転車、車などが行く手を遮ったり衝突ギリギリの所を通過するなどの通行妨害、行列などへの割り込み、ターゲットが買おうとした物に先に手をのばす、満員電車で荷物などを蹴る、または寄り掛かってくる等、やろうとする行動に対してあらゆる邪魔をします。